



今週、銀杏の黄色い葉っぱが一気に散ってしまいました。先日の人権同和教育参観日には大勢の方々に参観いただき、ありがとうございました。時の流れは早いもので、二学期もまとめの時期になってきました。

今号には、6月の校長講話にて、学校長が話した内容を掲載しました。一学期の講話で、だいぶ時がたってしまい申し訳ございませんが、お子さんと一緒に読んでいただいたり、お子さんに分かりやすく語っていただいたりすることで、子どもたちはより深く理解してくれるものと考え紹介します。

6月25日 木曜日 校長講話

「この人の名前は赤尾善治郎さんと言います」

「どの学校にもないと言われた鉄筋コンクリートづくりの2階建て」

『赤尾善治郎さんと赤心館』

みなさんおはようございます。プールの学習が始まって、みんなが元気よく水泳の学習をしている声が学校中に響いています。さあ、きょう私が話すのは、安茂里小学校にとっても関係の深い人の話をします。

写真①



こんな像が学校の中に立っていますが、みんなは知っていますか？どこにある？ そう、校門に入って左岩石園の横にこの石像が建っていますね。

顔をアップにすると 写真② こうなります。

写真②

この人の名前は、赤尾善治郎さんと言います。漢字ではこんな難しい字を書くんだ。

赤尾善治郎さん

善治郎さんは、江戸時代の終わり頃の文久三年（1863年）今から145年前に安茂里の差出で生まれて、昭和20年（1945年）今から63年前に、まだ戦争中だったのですが、神戸の自宅でアメリカ軍の空襲に遭って83才で亡くなりました。



昔は、どの家も貧しく、善治郎さんの家も貧しかったので小さい頃から、昼間は、田んぼや畑の仕事に薪あつめ。夜は、縄ない 草履作りと一日中働いていたそうです。実は、このころはまだ小学校がなかった時代なんです。だから、子どもたちはみんな家の仕事を一生懸命手伝っていました。

でも、明治7年（1874年）今から134年前に安茂里小学校になる前の磐宜学校が、久保寺観音正覚院で始まったそうです。その磐宜学校に12才で入学して、家の仕事の合間に学校へも通って一生懸命勉強をしました。

昔は、本を買うこともなかなかできなかったもので、子どもの善治郎さんは、野原で草花を摘んで、それを長野の町へ行って売ったりしてお金を貯めて、やっとほしい本を買ったそうです。

大人になってからは、東京の二松学舎という学校へ入って勉強をし、そのあとアメリカへわたり、そこで色々なことを学んで帰ってきます。そのアメリカでの生活から、畳の材料のい草や稲わらなど

で編んだ花むしろ（ゴザ）が売れるのではないかと考えて、赤尾商会という会社を建てて、花むしろをアメリカへ輸出したところ、これがとても評判が良くて、すごくたくさん売れ、会社もどんどん大きく発展して大成功を納めました。そして、昭和二年善治郎さんが65歳の時のことです。

安茂里の実家へお墓参りに来たとき、安茂里小学校の校舎が大変古く今にも壊れそうな様子に心を痛め「新しい校舎を建てましょう」と言って、とてもたくさんのお金を寄付してくださいました。そして、昭和7年（1932年）に完成したのが、この校舎です。写真③ これは、今から76年も前にたてられたのですが、その当時としては、まだ、どの学校にもないと言われた鉄筋コンクリートづくり2階建ての立派な校舎でした。

また、とてもつくりがしっかりしていて、少々の地震が来ても倒れないそうです。

そこで、その当時の人たちは、赤尾善治郎さんのありがたい心を大切にしようという思いを込めて、赤尾の赤に心をつけて、赤心館という名前にしました。

この校舎は、今は、校長室や職員室・図書館などとして使っていますが、以前は、二階が教室となっており、年配の方々は、「この赤心館で勉強をした」と、懐かしがってよく話してくださいます。

ここの職員玄関から中へはいると右上にこういうものが掲げてあります。

写真③



写真④



赤心館
看板

写真⑤



善治郎さんと糸子夫人

写真④ これは、赤心館と墨で書かれた看板です。写真⑤これは、善治郎さんと奥さんの写真です。安茂里小学校では、今でも赤尾善治郎さんの功績を讃えて、この赤心館を大切に守っているのです。だから、皆さんも走ったり、跳んだりはおねたりせず、大切に使ってほしいと思います。

休み時間などに玄関のところにありますから、ぜひ見てください。きょうは、赤尾善治郎さんと赤心館についての話をしました。

○初めての試み・学校公開週間（10月21日～24日）

本校はいつでも開放しておりますが、子どもたちの普段の生活・学習の様子を参観していただき、率直なご意見を学校の向上につなげたいと願い、今年度は学校公開週間を設けました。参観者の方よりいただきましたご感想・ご意見を、これからの学校生活・学習の向上につなげてまいりたいと考えております。



○音楽会（10月31日）

・ご来観、ありがとうございました。

日頃の学習を発表する場として音楽会を開催しました。心豊かに表現する子どもたちの姿を、保護者の皆さまはどのようにお感じになったのでしょうか？当日、ご家庭では、お子さんにどのようにお話しされたのでしょうか？

今後も、保護者・地域と協力しながら、児童の成長に取り組んでまいります。ご支援等をよろしく願います。